事業所名　保土ケ谷もえぎ

支援プログラム

作成日　2025 年　11 月　20 日

法人（事業所）理念		ひとりひとりの人生に寄り添い、幸せと成長を実現できる社会をつくる。社会の課題を自分ごとで捉え、チーム力とアイデアで解決を目指す。 それぞれのライフステージにフィットする、地域密着のOne Stopサービスを提供する。		
支援方針		ひとりひとりの利用者のニーズを把握し、それに合うサービスを提供する為に、日頃から事業所を卒業した後の事を想定し支援の提供を行う。 居場所作りだけではなく、生活する上で、できる事を増やし将来自立した日常生活を送る為の経験を積むなど、成長を促せる関わりについても意識して支援する。		
営業時間		平日　13時30分　～　17時00分	送迎実施の有無	あり（片道15分以内を想定しています。）
		学校休業日　10時00分　～　16時00分		
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	＜健康な体力作りの為の基本的な生活スキル・生活訓練＞ ・掃除、手洗い、更衣動作、排泄練習、買い物練習、持ち物管理、マナーやルール等		
	運動・感覚	＜身体の感覚や感触への刺激、運動機能、バランス感覚、五感を使う遊び体験＞ ・トランポリン、プール、リズム遊び、公園遊び、散歩、ラジオ体操、球技、サーキット、食具やハサミなどの使用等		
	認知・行動	＜認知の特性、適切な行動習得、行動障害予防及び対応策＞ ・SST、空間認知、文字や数字、ごっこ遊び、パズル、ブロック、カード、外出、行動感覚や認知の偏りに対してのリフレーミング等		
	言語・ コミュニケーション	＜円滑なコミュニケーション支援＞ ・こども会議、朝の会、帰りの会司会、特性に合わせたカード、イラストカード（個別対応）等		
	人間関係・社会性	＜社会生活に適応できるようにするための必要なスキル支援＞ ・SST、個別対応、ルール―やマナーの経験体験、ごっこ遊び、他児童との関わりが楽しく持てる体験（個別対応）等		
家族支援		・送迎時等日中の様子など共有する時間を設け、以後の療育活動での関わりに繋げる。 ・定期面談や環境変化時等での面談とモニタリング等で本人の成長や課題について保護者との話し合いの機会を設け、家族支援サポートを行う。 ・研修会等を通して最新の情報や支援方法を共有、家族周知に繋げる。		
移行支援		・学校、他事業所との情報交換（各会議等への参加）を行い、進学・就労のサポートを行う。 ・地域企業の実際の職場で必要な社会スキル体験活動を行う。 ・金銭管理や家事スキルの活動機会を設定し、自立した生活を送る為の基本的な生活スキルの向上を行う。		
地域支援・地域連携		・図書館や体育館、地域の公共施設など地域資源を活用する。 ・InstagramやHPを積極的に活用し、活動内容や障害についての理解を広める為の情報提供と啓発活動を行う。 ・地域と連携した防災訓練や緊急時のネットワークを構築し、災害を含む緊急時の対応力を高める為の地域連携を行い、地域部会等にも参加。		
職員の質の向上		・PDCAサイクルの取り組み。 ・資格取得の為の費用補助や資格講座等の提供を行い、職員の専門性を高める為の資格取得制度を積極的に活用する。 ・ケースカンファレンスを通して最新の知識と実践的なスキルアップを行う為の定期的な研修と教育を行う。 ・外部研修の受講等積極的に参加		
主な行事等		・研修会　…保護者向けの茶話会開催（長期休暇中や土曜日） ・園芸活動 …季節の収穫体験（サツマイモ堀・ジャガイモ堀り・ミカン狩り等） ・季節行事 …水遊び・クリスマス会・お誕生日会・ハロウィン・端午の節句・ひな祭り・お花見・遠足等		